

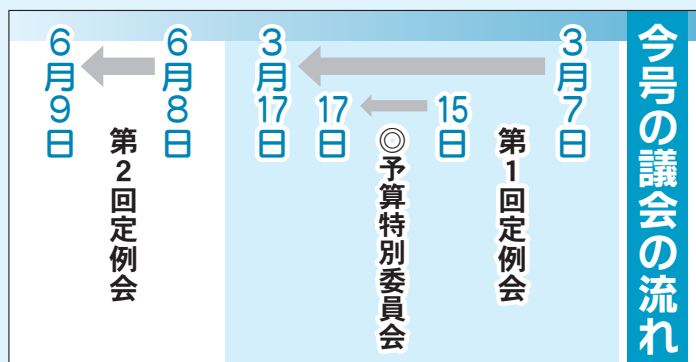
月形町 議会だより

No.
34
2023.9.5



ラジオ体操フェスティバルの様子（札比内コミュニティセンター）

| | |
|------------------|----|
| 第1回定例会 | 2 |
| 予算特別委員会 | 7 |
| 第2回定例会 | 10 |
| 多年の功績を讃えて／活動経過報告 | 16 |
| 授業の一環で議会を傍聴 | 17 |
| 舞い降りて月形／編集後記 | 18 |



令和5年 第1回定例会

第1回定例会は、3月7日から17日までの11日間の会期で開催されました。7日は、議案15件について審議し、すべて可決され、その後、令和5年度の町政と教育行政執行方針が示され、令和5年度各会計予算6件と関連議案7件が予算特別委員会（大釜登委員長）へ付託されました。14日に一般質問が行われ、4議員から4項目の質問がされました。15日から17日までの予算特別委員会の中で、令和5年度各会計予算及び関連議案についての審議が行われました。17日に予算特別委員会から審議の結果報告を受け、令和5年度予算関係の全13件を原案どおり可決、そのほか発議1件、意見案1件、会議案1件の審議を行い可決承認されました。

質疑応答

令和4年度補正予算

■不妊治療費用の減額

問 減額の理由と利用者は何人であったのか。

答 不妊治療を6名分、不育症治療を2名分を見込んでいたが、1名の申請にとどまったためである。P.R不足かもしれない。

■「つち工房」の管理について

問 「つち工房」の指定管理者が町内の方に指定されることになったが、管理はどのようになるのか。

答 施設の維持管理として、夏場の草刈り、冬場の除雪などを行ってもらい、指定管理料として支払う。

生活応援事業の減額

問 予算に対して半額近くの減額補正の理由は何か。

答 対象世帯の見込みが多かったことによる。

■ふるさと納税推進事業の減額

問 減額の理由と、ふるさと納税について今後伸ばしていく方向なのか。

答 返礼品の中で、米に関わる寄付が減っている。サイトの確認で、他の自治体では、たとえば同じ返礼品でも、それに対する寄付額が月形町で設定する額より少額となっていて、寄付者はよりお得に返礼品がもらえる自治体へ寄付するために、寄付額が減ったのではないかと考えている。令和5年度に向けて新たな返礼品の協議をして、寄付額の維持を図りたい。

備荒資金への積立について

問 北海道備荒資金組合へ今回1億2970万円を積み立てるということであるが、残高はいくらで、積立てに対する基準はあるのか。

答 残高は令和4年3月現在、5億5000万円弱で、これに1億2970万円を上乗せすることになる。今後の義務教育学校の整備に係る財源の一部に充てることを見込んでいる。基準は、普通納付金で3億円と記憶している。

■居宅介護サービス等給付費などの減額

問 居宅介護サービス等給付費や施設介護サービス給付費が減額となっているがどうしてなのか。サービスを受けられないことでの影響は考えられるのか。

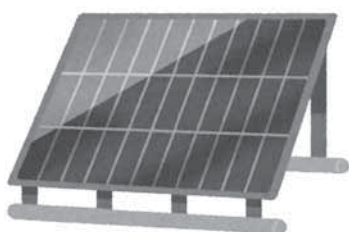
答 コロナの影響が大きく、どちらも利用者は大きく減少した。クラスターによる通所のサービスにおける入浴の中

止や、外出の減少で認知症の多少の進行が見られたとの話があった。

■太陽光発電の条例における罰則規定は

問 「月形町太陽光発電事業と地域との共生に関する条例」で違反者に対する罰則規定は設けられていないが、他の自治体ではどうなっているのか。

答 全国166自治体が太陽光発電の規制に関する条例を設けており、そのうち罰則規定を設けているのは7自治体である。今回の月形町の条例では、指導、助言、勧告、公表をもって条例の実効性を持たせている。状況によっては、今後検討する。





まつだ じゅんいち
松田 順一 議員

「保育留学」で花の里こども園と 利用希望者とのオンライン面談は？

《町長》一時保育がスムーズに行えるように オンライン面談を行う

問

令和5年度町政執行方針において、新たに移住体験事業として「保育留学」に取り組むことが打ち出された。主に都市部の移住体験を希望する子育て世帯が花の里こども園を一時的に利用し、保護者は町内の住宅においてテレワークなどで勤務をするとしている。

この事業で注目されているのが、檜山郡厚沢部町の認定こども園「はせる」の保育園留学である。内閣府による一時預かり事業を活用し、全国から厚沢部町に1〜3週間滞在し、子どもは認定こども園に通い、一方、保護者は短期滞在用住宅でテレワークをすることができ、休日は家族で野菜収穫やサイクリングなど、地域とのつながりを感じられる食育体験や暮らし体験が楽しめる。また、保育園留学の利用希望者の受入れ前に、「はせる」とオンライン面談を行い、保護者や子どもに「はせる」で体験したいことをヒヤリングするとしている。そこで、月形町でも、花

の里こども園と利用希望者のオンライン面談を行うのか伺いたい。

答

この移住・定住については、職場環境に左右されないテレワークでの勤務が可能な方を対象としている。また、都市部などに在住する子育て世帯の保護者で、都市部では経験ができない非日常的な生活を望まれる方々に対して、こども園の一時保育を利用していただき、保護者はテレワークでの勤務をしてもらいながら、1〜2週間月形町に滞在していただく。この事業により、継続的に関わりを持つ関係人口の創出、または、その方々が定住していただける定住人口につながる可能性を秘めている。

さて、花の里こども園の利用希望者に対してオンライン面談を行うのかという質問だが、本町が「保育留学」を実施する場合には、委託事業者が本町での保育留学の希望者を全国から募集し、その応募者の中から利用家族を決定す

る。決定した際には、委託事業者、町、家族、こども園により一時保育がスムーズに行えるようにオンライン面談を行っていく。また、本町を希望する家族を対象にオンラインの座談会などを開催することも考えている。

問

認定こども園の利用希望者が滞在する住宅については、厚沢部町では短期滞在用住宅が用意されている。月形町では、どのような住宅への滞在になるのか。

答

町の滞在期間中の食費などの発生により経済的な効果も見込めると考えている。本町では、民間の住宅を借り上げることで地域経済の活性化にもつながると考え、令和5年度においては、受け入れ世帯のために町内の一戸建て住宅1棟を借り上げる。なお、住宅については、建物の維持管理、入退去後の清掃など、また冬期間の除排雪、生活用品一式、布団など、水道光熱費

も含め所有者に管理していただくことになる。また、テレワークが可能な環境への対応も予定。テレワークについては、本人が希望する場合、北農場にあるコワーキングスペースの活用も可能とするよう検討している。

問

このような「保育留学」の事業を行うとなれば、認定こども園の保育士の方も仕事量が増加になり、負担もかかると考えるが、保育士の増員はあるのか。

答

現在、こども園に対しては、一時保育に係る保育士1名分の指定管理料を計上している。一時保育の利用定員は、2歳未満1人、満2歳児1人、満3歳児以上3人の計5人と規定されている。今回、「保育留学」を実施するにあたっては、こども園側が一時保育を受け入れられるかを確認しながら実施するので、現状の保育士で対応は可能と考えている。



ひがしで よしゆき
東出 善幸 議員

おでかけハイヤー事業を拡充しないのか

《町長》 町民の意見を聞いて行っていく

問

町内では、中央バス、札沼線バス、町内循環バス（住民混乗のスクールバス）、ぬくもり福祉券が利用できるハイヤー、さらには福祉に特化した福祉有償運送、さらに令和4年度からは、利便性の高い町内の生活交通の体制整備を図り、空白地帯の解消に取り組むために、「おでかけハイヤー」が本格運行している。月形町の交通体系は、他市町村から見てもたいへん充実している。

道内では、和寒町（上川管内）がおでかけハイヤー事業を行っており、対象者は高齢者で初乗り運賃に対するの助成をしている。また、豊富町（宗谷管内）でも、交通費助成としてハイヤー基本料金相当額の支援を行っている。本町の「おでかけハイヤー」の利用状況を見ると、登録者数や地域別の利用件数は市街地が多くなっており、運行先も町立病院とエコープが半数以上を占めている。運賃も定額で、利用されている方々には好評を得ている事業だが、利用時

問、定額運賃および運行先はどのように決定したのか。

答

利用時間については、9時から17時としており、これは、公共施設の利用時間やスクールバスの運行時間、事業者の車両保有台数や乗務員等の運行体制などを踏まえ設定した。

定額料金については、町の財政負担、利用者の負担軽減も考慮し、市街区域は400円、市街地よりおおよそ2キロメートルを超える区域は1000円と、2つに区分をしている。令和3年の実証運行期間中に利用地域の範囲拡大、料金の見直しを行ったところ、利用者数が増加したことから、現行の料金体系にニーズがあると判断し、決定した。

運行先については、自宅から指定された目的施設までの間を定額料金で利用できるものであり、降車場所、帰宅の際に乗車場所となる目的施設については、日常生活やユニティ活動の利用度の高いと思われる公共施設を中心に11か所を設定した。運行先な

どについては、実証運行期間中においても、町内検討会や月形町地域公共交通活性化協議会において議論し、目的施設の選定、検討を行い、現行制度とした。月形町定額ハイヤー事業、通称「おでかけハイヤー」については、月形町地域公共交通網形成計画における公共交通空白地域の移動手段の確保を図ることを目的として制度化した。

問

利用時間、料金、運行先については、いろいろな状況を踏まえ、また実証運行期間においても検討や議論されて、現在に至っていることは了解した。町民にもどのように決めたのかは、見えたと思う。

利用者の方々から、運行先や運行日時の追加・変更についての要望はあるか。

答

利用者から直接、要望や意見、制度の変更についての声は、寄せられていないのが現状である。令和5年度については、運行時間や目的施設など現行ルールを継続すると考えている。

問

利用者から意見や要望は寄せられていないということだが、私のところへ直接、利用者の方やハイヤーの運転手からは利用者から言われたということで、運行先や土曜日の運行を追加してほしいとの声がある。答弁の中で、令和5年度に月形町地域公共交通計画の策定を予定しているの、利用実態を分析し、利用ニーズを把握するといいことだが、どんな形で考えているか。

答

アンケート等も含めて、町民の意見を聞いて、利便性の高い、町民の期待に応えられる施策を行っていききたい。

問

町民の声を聞くというのは、今、町長が言われたように一番大事な部分であると思う。アンケートも一つの手法であるということなので、ぜひ町民の声を十分聞いていただきたい。これだけ交通体系が充実しているのだから、どんどんPRをして、これが移住・定住につながればと期待している。



あがつま こう 議員
我妻 耕

「スマート農業」への取組み—実績、今年度そしてこれから

《町長》 成果があり、今年度は高収益作物を重点に

問

本定例会の町長による令和5年度の町政執行方針で、「スマート農業」への言及があった。「スマート農業」という語句は、令和2年度の町政執行方針から4年連続登場して、重要視されているものであると思う。農業における作業の効率化や労働力不足の解消に益する、有効であるということについては、当初から一貫して触れられている。

1点目として、今回の町政執行方針でも「スマート農業は、労働力不足の解消や生産性の向上などを実現するための有効な手段」と評価しているが、令和2年度からこれまでの、月形町におけるスマート農業への実績、その評価についてはどのようにとらえているのか、伺いたい。

答

本町では、幅広く農業に取り組んでいただいているが、特産品の生産現場における事業者の高齢化や慢性的な労働力不足、後継者不足により、生産の維持や栽培技術の継承が困難となりつつある現状の打開策として、これまでさまざまな取組みを展開してきた。

令和2年度に月形町農協が、国の経営継続補助金を活用し、省力化機械の導入に取り組んだことを好機ととらえ、月形町農業経営継続支援事業において、国の補助金に上乗せする形で支援をした。同年に月形町青果物集出荷貯蔵施設を整備し、大きな成果を上げ続けている。

令和3年から3か年計画で、地域特産品生産振興事業における特産品の生産の省力化および効率化を図る取組みとして、初年度には、農業用ハウス電動換気設備、4年度には、スマート農業機械等に対して地方創生臨時交付金を活用した新型コロナウイルス感染症対策事業として支援を行った。結果、令和2年度と比較して、ガイダンス付きトラクターが5倍以上、農業用ドローンも2倍以上と他の機器も含めて、飛躍的に普及が進んでおり、成果があったととらえている。

問

令和5年度の町政執行方針では「スマート農業」の部分で町長は「本町においても高品質な特産品の生産を目指し、農業の精密化と省力化を加速していく必要がある」という課題を挙げていた。月形町における令和5年度4月からの「スマート農業」に対する取組みはどのようなものであるべきと、考えているのか。

令和5年度の町政執行方針では「スマート農業」の部分で町長は「本町においても高品質な特産品の生産を目指し、農業の精密化と省力化を加速していく必要がある」という課題を挙げていた。月形町における令和5年度4月からの「スマート農業」に対する取組みはどのようなものであるべきと、考えているのか。

答

令和5年度は、この計画の最終年度というところで、私は、より特産品の生産振興に重点を置き、支援内容はそのまま施設園芸作物の生産体制、とりわけ、高収益作物の生産を強化する取組みへ舵を切ろうと考えている。今後、施設園芸による高収益作物の生産体制を強化していくためには、ほ場やハウスの温度や湿度、照度などの状況を画像等で確認できるセンシング・モニタリング技術やロボットが自動で野菜等を重量や大きさ、糖度、質で選別し、収穫する自動選別収穫技術、そして、農作業の栽培ノウハウをデータ化し、分析・活用する精密農業の技術こそが、本町に必要なスマート農業の技術ではないかと考えている。

問

高収益作物への取組みを強化したいということとは、6年度以降もそちらにシフトするということか。

答

令和5年度の状況を見て、しっかりと評価、実績等の検証をし、トータル的に月形町の農業振興のためにしっかりと考えて、支援をしていきたい。

問

トラクターやドローンという話が出たが、スマート農業関連の予算は150万円で、これでは農協の募集としては、1件あたり上限30万円もしくは事業費の3分の1というところである。6年度以降の拡充などは考慮の中にあるのか。

答

現時点で、考慮するとは決定しているわけではないが、当然、そういうことも含めて時代に合ったニーズで、施策として打ち出したい。

問

月形は非常に多彩な農業地帯で、施設園芸、高収益作物から稲作、畑作、畜産まである。月形農業全体を見ても、整備をしていかなくはないけれども、さまざまな部分があり、6年度以降はいろんなことを考えた上で取り組んでいくと理解してよろしいか。

答

そのように考えていた。だいたい。

おおがま のぼる 議員
大釜 登

学校給食の無償化は行わないのか

《町長》適切な時期に判断する

問

昨年12月の第4回定例会において、町長は、「すばらしい月形の子どもたちをしっかりと支えるために、子育て施策の充実という面からも給食問題を真剣に考えていかなければならない」「令和5年度予算等は最終的に固まっていないので、それらの状況も踏まえながら、子どもたちのためにしっかりと判断する」と述べている。しかし、令和5年度の町政執行方針には、学校給食の無償化の記載もなく、予算書にも予算が計上されていない。今回、無償化を見送った理由と、今後、この問題をどのように進めていくのか、伺う。

答

保護者アンケートを、昨年12月から1月20日を調査期間として実施し、2月15日の学校給食センター運営委員会での結果を報告、翌日以降、小中学校を通じ児童生徒の保護者にアンケート結果をフィードバックした。学校給食のあり方の検討は、スタートしたばかりであり、教育長の令和5年度教育

問

行政執行方針でも、「保護者アンケートの結果を踏まえ、今後の給食のあり方について総合的に検討していきたい」と述べているのと同様に、他の子育て支援政策や町財政を考慮したうえで、適切な時期に判断をしたいと考えている。

答

だが、運営委員会だとか、アンケートがどうこうとかではなくて、無償化をするか、しないか、その判断をしてほしい。我々議会として、子どもたちを守るためなら、次の議会で発議をするとか、いろいろな方法がある。町長がトップダウンで「やれ」と、「新年度からやるんだ」「補正を組んでやりたい」という、そういう決意を聞きたい。適切な時期という話は、来年度なのか、再来年なのか、伺う。

問

私が言いたいののは、保護者からもう給食費を無料にしてほしいということだけである。しないのであれば、この時点で、本年度はする気はない、来年度にやるという答弁がほしい。できないのであれば、先ほど言ったように我々議会はそれなりの対応を取って、無償化を進めていきたいと思っている、再度伺う。

答

給食費については、物価の高騰などの流れに乗らず据え置いてきていることも踏まえて、令和5年度の無償化はやらないと判断した。令和6年度以降の無償化については、令和5年度に議会や保護者と、しっかりと話を詰めて、しかるべき判断をしたい。

問

答弁の中で、はっきり無償化を打ち出さないことは、理解した。財源の問題にも少し触れたが、ふるさと納税の寄付者の意向別充当額の約7割が「子どもたちが健やかに力強く成長するための取組」となっている。財源

がないとは言えない。今回の議案審議の中でも、備荒資金として1億2000万円を積んでいる。そこから850万円充てれば良いと思う。財源がどうこうとか、皆さんの意見を聞いてではなくて、トップダウンで町長が判断してほしい。

答

5年度中に、しっかりと判断したい。

問

学校給食費の無償化については、我々議会も注視していく。ぜひ町長の大英断で決断願う。



予算特別委員会

質疑要約

予算特別委員長 大釜 登 議長を除く6名で構成

月形町一般会計
国民健康保険事業特別会計
農業集落排水事業特別会計

介護保険事業特別会計
後期高齢者医療特別会計
月形町立病院事業会計

総務費

Q 防災備蓄品における非常食の令和5年度の備蓄状況は、どのようになっているのか。

A 昨年は時期的に不足することがあったが、最低ラインの1428食を超える常時1450食を備蓄している。

Q 役場庁舎改修業務の内容はどのようなものか。

A ボイラーの老朽化による暖房機能の見直し、地下室の自家発電装置の屋上移設などを想定し、令和5年度に基本設計を行い、その後実施設計となる。財源としては、緊急防災減災事業債などを活用したい。

Q 「おでかけハイヤー」の日常生活機能対策ハイヤー事業が増額されているが、その内訳はどうなっているのか。

A 町内のハイヤー事業者への補助金と、「おでかけハイヤー」の定額ハイヤー事業における差額負担である。



A 4年度については、年度途中に北海道からの財源がなくなった事業を中止するとの通知があったので、全額使われなかった。事業の要綱等の変更はない。

Q ふるさと活性化基金を用いたふるさと活性化事業が、600万円増額され、812万円余りとなっているが、その内容はどのようなものであるのか。

A 道の駅や、特産品等の開発・商品化に向けた事業への補助である。

衛生費



Q 「ぬくもり福祉券」については、令和4年度中に今まで以上に効果のある制度を検討するということであったが、どのようになったのか。

A 検討について、4年度中にまとまりきれなかったため、5年度はこれまでどおりとして、6年度から新たなやり方を予定している。

Q 成人歯科検診の歯科保健業務の内容はどのようなものであるのか。

A 対象は、40〜70歳の75歳以上の方で、妊婦は無料である。町内2か所の歯科医院で実施する。

土木費

Q 町の除雪に関して、人材確保の対策はどのようなのか。

A 手当の増額や人材確保、安全確保について、

委託業者と早い段階での打ち合わせをしている。

Q 除雪路線や除排雪のやり方の見直しなど、作業員の負担軽減のためにも必要と考えるが、いかがであるか。

A 路線や除排雪箇所は令和4年度と同じで考えている。見直しについては、地元の理解を得る必要があるが、負担軽減を最優先に事業を進めていく。

Q 町営住宅管理経費の修繕料の内訳はどのようなものであるのか。

A 退去にともなう内部の修繕、こすもす団地の電気温水器交換や各住宅のボイラー交換の件数は令和4年度の倍としており、また白樺団地の浄化槽の補修などである。

Q 定住化促進事業の補助金の額の見直しや、対象を広げるなど検討する余地はあるのか。

A 「あんしん住宅補助金」をはじめ、多くの方に利用されているが、増額や枠

の拡大など内容については、現状のとおりと考えている。

歳入

Q 多目的研修センターの使用料収入の予算が、令和2年度から32万円、23万円、15万円、そして令和5年度は6万円余りと減ってきているが、予算の積算はどのようになっているのか。

A 過去3年間の平均利用料で算出している。葬儀の利用が減少している。



介護保険事業 特別会計

Q コロナも落ち着く中で、月形町の介護保険事業会計の現状と先行きはどのようになるのか。

A 人口減による保険料収入の減少と同時に、サービスを受ける方も減少するので、その兼ね合いについての検討は必要である。今期の介護保険事業計画では、準備基金に手を付けることなく賄うことができた。今後もできるだけ介護保険料を上げない方向でいきたい。

町立病院

Q 病床稼働率を令和5年度も87%としているのは、どういう根拠か。

A 令和3年度が89.1%で、4年度も同程度と見込まれていることによる。

予算特別委員会

総括質疑

※総括質疑

予算特別委員会において、各会計の審議のあと、すべての会計にまたがって総括的に質問する質疑。

こまめな見回りで補修か所の早期対応を
若 井

Q 町営住宅への、職員によるこまめな見回りで、補修か所への早期の対応を提案したい。

A 住民の声を聞き、速やかに処置をすることについて再度しっかりと取り組んでいく。
(町長)

月形町のパンフレットの更新は
若 井

Q いまだにJR札沼線の記載があるなど、月形町のパンフレットの内容が現状と合っていないものが置かれているが、新しいものにしたほうが良いのではないかと
今年度中に新しいパンフレットの作製を予定している。
(企画振興課長)

旧石狩月形駅前に待合所を
出 東

Q 駅舎の解体で、駅前の停留所に待合所がなくなりましたが、バスの発着点でもあり、町道の整備にあわせて待合所を新設できないか。

A 停留所が交差点内に分散しているが、乗り継ぎなどの対応のため、現在、月形町役場町民サロンを開放している。駅前待合所の設置については、これまでも検討しているが、今後のバス路線の見直しや利用状況、周辺の環境なども考慮し、最終判断をする必要がある。

(企画振興課参事)



Q 観光客数が空知管内24市町でも、最下位層に位置付けられる月形町の観光事業について、どのような考えなのか。月形町公式サイトには、まだ「ホテルのレストランの利用を」との表記があるなど、目が届いているのか。

A 観光マスタープランをベースに、今回の皆楽

公園の整備、道の駅の登録認証をもって、月形の観光振興は充実する。住んでいる人が、月形の素晴らしさを発信し、同じ方向を向いてやっていくことが大事であると考え。サイトについては速やかに対処する。

(町長)

短期滞在者の住宅建設の予定は

田松

Q 保育留学における移住体験事業での住宅について、一戸建て住宅1棟の借上げということであるが、少ないのではないかと。移住体験の住宅の建設は考えていないのか。

財政状況、月形町の今後の主要課題などを考慮すれば、建設の決断はできない。

(町長)

除雪路線や個所の見直しを

堀

Q 町道や公共施設における除雪について、常時の除雪ではなく使用頻度に応じて、見直すべきではないのか。

今年度の除雪シーズンが始まる前に見直すことは、作業員の負担を考えると、近々の課題と考える。住民との話し合いが必要であるが、私が先頭に立ってしっかりと取り組む決断をしている。

(町長)

新年度予算に計上すべきであった

堀

Q 保養センターの改修と道の駅の整備について、昨年6月から議会との協議があり、月形町の主要事業でもあり、この3月の議会に新年度の予算として計上されるべきであったと考えるが、

されなかった。先送りの原因として、はな工場の空調の故障というが、予見できなかったのか。

責任を感じ、お詫びする。空調の突発的な故障が夏から冬の切り替え時に発覚したほか、建築資材などの物価高騰も要因となった。5月以降で補正予算に計上することになり、町民にも理解していただくよう取り組んでいく。

(町長)

給食費の無償化をすべきでは

堀

Q 学校給食費無償化について、今定例会の一般質問に対して今年度中は実施しないとの答弁であった。無償化については、これまでも議会からも声が上がっており、今年度からの支援として必要と考えるが決断をいただきたい。

再度の学校給食の無償化に対する質問であり、4月の町議選後の早い時期に無償化の具体的な内容を議会に示す。

(町長)



令和5年 第2回定例会

第2回定例会は6月8日、9日の2日間の日程で開催され、一般質問（4名5件）を行い、議案6件、承認4件、同意11件、諮問1件、意見案1件、会議案1件を審議し、全件が可決承認されました。

質疑応答

令和5年度補正予算

● 一般会計

■ 札比内駅の修繕は

問 札比内駅にふるさと納税を使って修繕するということ、解体しない方向なのか。

【松田】

答 修繕費16万5000円は、地下水の汲み上げポンプに係る電気配線工事費用。現在、解体ではなく一般公募による新たな活用を考えている。【企画振興課参事】

■ 経営の黒字化は

問 保養センター等管理関係業務において、レストラン収支計画で110万円の赤字となっているが、最大赤字とみているのか。

地域活性化起業人を使って経営改善を図るといふことで、

この赤字について起業人は何か言っていないのか。黒字化を図っていないのか。【我妻】

答 赤字額は、そのとおりである。起業人にはいろいろなアドバイスをもらっている。経営努力によって数字は動くが、無理のない数字であると言われている。黒字化するよう努力する。【企画振興課参事】

■ 地域公共交通対策

事業について

問 代替バスバスベイ調査設計業務1324万4000円は、町民保養センター近辺、旧月形駅前業務ということだが、予算では国道におけるバスベイ設置に関する調査設計業務費用として431万円となっており、比較すると金額が大きい、なぜなのか。

【我妻】

答 当初の予算は1か所、今回は2か所と数が多くなり、調査設計も広範囲となった。

温泉前のバスベイは一般車両の動線等安全対策を含めた

内容なので、一般的な道路の調査より大きな金額になっている。【企画振興課参事】

■ 学校給食費の無償化は継続するのか

問 学校給食費の財源が、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に振り替わっているが、今後、コロナの臨時交付金がなくなった後も町は給食無償化をしていくのか。

【我妻】

答 今後、給食費を無償化すると約束した。今回だけ新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使っているが、次はゼロベースで考えているということではない。【町長】



議会は公開されています

傍聴の方法は二つ

- 1 生の迫力ならば 役場3階の議場の傍聴席で
- 2 モニター中継で気軽に 役場1階の町民サロンで

定例会などの開催予定や傍聴に関してお気軽にお問い合わせください
議会事務局 ☎53-2321 (内線372)



お気軽に傍聴してください

月形町民保養センター等改修工事

質疑応答

問 本工事は4億円を超える事業規模であるが、なぜ、3月の当初予算に計上せず、6月の定例会に補正予算で計上したのか。【若井】

答 基本設計、実施設計の業務完了が3月という契約であり、当初予算編成時期までに設計が上がらず、工事費が出せなかった。事業規模にかかわらず、事業の見通しがついたとき、例えば補助金が採択された時期に補正するということは通常ある。【副町長】

問 執行責任者として町長の決意、改修の考え方についてどう思っているのか、今一度、町長の言葉を聞かせてほしい。【東出】

答 現状の毎年膨らむ修繕費、配管等の老朽化など保養センターの改修は、待ったなしの状況である。町長として政治生命をかけ、この工事を実施し、新しいまちづくり、月形の賑わいを起こし、人口

減少の問題に取り組んでいきたい。【町長】

問 町長は最低限の投資というが、老朽化した施設を改修するより新たに建築した方がかからないと思う。【金子】

答 ある程度のルールにそって、現場も一生懸命考えて、これがベストであるという総合的な判断で今回、提案している。【町長】



《反対討論／金子》

今回の保養センターの予算については、賛成できない。去年、副町長は、わが町の財政では、8億5000万円以上の予算は厳しいと話をしておきながら、それ以上かかる方を選んでいる。レストランは初年度は11



《賛成討論／我妻》

令和5年度一般会計補正予算、町民保養センター改修工事については、主に次の3点の理由を持って賛成討論する。

- (1)老朽化した保養センターの改修にからめ、道の駅としての機能を持たせる皆楽公園エリアを、有機的に結び付けて取り上げていくとしている。
- (2)町が選任し、昨年、4月に着任した地域活性化起業者2人が、社員の方々と共に同じ仕事をしながら作り上げた保養センターの改修とその後の運営計画であること。
- (3)昨今の工事費または建築資材の高騰や、過疎債など起

0万円の赤字が想定の上、調理人も決まっていけない状況で、レストランや厨房を作るというのは本末転倒な話である。本当に地域のために実際に努力をしてやりたいという人がいてはじめてその場所が活性化する。

また、はな工房については、築31年が経過し解体することもあると考えられており、外壁と空調設備工事に1億3000万

債、資金に関して、この事業を先送りすることに不安があること。

他にも月形町内における食べる所を望む声があることや雇用の創出等々挙げられる。そこに保養センター等改修工事の必要性が感じられる。

仮に料理人が計画の段階で決まっていたとしても、過去に調理人協会から派遣された調理人によるレストラン運営も経験しているが、賑わいを見せていたであろうか。改めて、この保養センター

円も掛ける物でもない。これだけの金額を投じるといふことは、将来、宿泊部屋を改修するといふストーリーが見えてくる。はな工房は、前議会では手をかけないように（町側）と予算調整をしていた。トイレと温泉の改修だけで収めるべきで、もう少し時間をかけても良いから、もう一度、精査してやるべきであると考え、よって反対する。

の改修についての必要性を鑑みると、改修後の経営や動向を注視し、何かあれば、行政、振興公社に強く迫り、原因の追究をして修正に導くことが、過去の経緯を知り、過去の関わった私をはじめ、議員の仕事であると思う。よって、保養センターの改修工事を含め、今定例会の令和5年度一般会計補正予算について賛成する。

○賛成…滝口、東出、我妻、松田

●反対…金子、若井

採決《賛成4…反対2》で原案可決

地域拠点施設とバスターミナルや商業施設の具体化は



松田 順一 議員

《町長》義務教育学校の設置後の整備に向けて、具体的に検討、計画する

問

JR札沼線廃止後に必要な施設として、老朽化した公共施設など中心市街地へ再整備する地域拠点施設と、旧JR札沼線の代替路線バスの運行と中央バスや既存バスの路線等をつなぐ町内公共交通のバスターミナルの候補地が検討された結果、移転後の月形小学校グラウンド跡地に整備することとした。

また、議会との協議の中では、エーコープつきがたを念頭に食品ストアー等の商業施設を設置すべきとの意見もあった。

令和5年度の町政執行方針では、地域拠点施設について「本町のコミュニティ活動の軸となり、町民の交流や賑わいを創出する地域拠点施設の整備に向け、地域の規模、機能、管理体制や活用方法など、より具体的な内容をまとめた構想づくりを行ってまいります」としていた。

しかしながら、地域拠点施設の場合は具体的に示しておらず、バスターミナルについ

ては記載されていない。

また、町政執行方針において「地域拠点施設は、月形町地域拠点施設整備等審議会からの答申を基本として、公共施設のあり方や町財政計画を踏まえた上で整備する必要があり」と考えています」とのことだが、今までの議会への説明と整合性があるのかどうかも町政執行方針の記述からはいかがい知れない。

新たな状況があるのなら議会に説明すべきと考え、次の2点について町長に伺いたい。1点目、バスターミナルの計画はなくなったのか、建設する時期や場所など地域拠点施設とは切り離して計画する予定なのか。

答

地域拠点施設については、個別具体的な機能や整備方法などの詳細スケジュールについては現時点では確定していないが、義務教育学校が設置された後、コミュニティ機能とともにバスターミナル、そして、町民の交流や賑わいが生まれる施設の整備

に向かって、より具体的に検討し、計画する。

問

義務教育学校の設置が令和9年で、あと4年ほどしかない。今後に向けて、地域拠点施設とバスターミナルについて具体的にスピード感を持って検討していただきたい。2点目の質問として「エーコープつきがた」など食品ストアー等の商業施設の店舗を誘致する考えはあるのかお聞きする。これについては、バスターミナルを利用する人たちの利便性として商業施設等があると良いのではないかと。公共交通と一体化すると買い物するにも便利だと思いが、伺いたい。

答

食品ストアー等の店舗の誘致についても、具体的に整備プランが決まっていないが、地域拠点施設の機能の一部として議論していく必要があると認識している。より具体的に検討、計画する。





東出 善幸 議員

改修において、サウナの充実が必要では

《町長》 財政状況を踏まえ、今後検討が必要

問

今後、町民保養センター改修や道の駅のオープンが予定されている。

町民や温泉利用客は、今回の改修や道の駅オープンにたいへん、関心を寄せている。

しかし、町民保養センターは工事費等の高騰により、当初の計画から縮小され、ホテル（はな工房）2階客室の改修も規模縮小と、レストランの新設等はあるものの、浴場内は機能的に現在の状況とほぼ変えないものと思われる。

近隣の温泉施設では集客増を図るため、源泉かけ流しや岩盤浴、特に力を入れているのは、健康増進やストレス解消に人気のサウナである。

本町の温泉施設は、露天風呂及びサウナは設置されているが、今回大きな改修は見受けられない。

今回の改修で、集客を図るためのセールスポイントは何か。

答

町民保養センター等の改修は、基本計画を策定し、その方針に沿って基本

実施設計を行い、改修工事の計画を進めてきたところである。

しかし、ここ数年の物価高騰に伴う建築費の上昇、本町の財政規模と照らし合わせた場合、投資できる費用に限界がある。限られた予算で、既存の施設を有効活用し、将来負担を可能な限り少なくする方法も、選択しなくてはならない。

今回の改修は、皆楽公園エリアを町の観光拠点として、温泉施設をハブ施設としての機能向上に重点を置くとともに、温浴施設としての基本機能を温存し、長く施設を適正に管理運営させていくことが、重要と考える。

改修工事は、基本計画に掲げた目的を達成することを基本とし、周辺アウトドア、レクリエーション施設等の既存の施設を活かし、温泉、宿泊、飲食の3つの機能を、安定的にサービスを継続させていくことが、本町にとって一番大切ではないかと考える。皆楽公園エリアが持つ多様な機能

とサービスを提供できるというところが、最大のセールスポイントであると思っている。

問

温泉が基本で、充実しなくてはいけない。温泉は、入浴される方の健康保持、効能として身体を温める温熱作用、温泉の成分が皮膚を通して体内に吸収され、身体の機能が健康になる科学的効果、総合的調整作用があるとされている。特にサウナストーンに水をかけて、高温の水蒸気を生じさせ、体感温度を上げて発汗作用を促進する、ロウリュウというサウナ風呂に人気が出ている。ロウリュウを導入している温泉施設は増えてきている。本町の場合、サウナの充実が集客増につながるかと考えるが、いかがか。

答

サウナブームでいろいろな効果があるとして、サウナによる集客増を図っていく手段としては、今後は検討していかねばならないと思うが、現時点で大きな改修の変更は考えていない。

皆楽公園エリアが持つ多様な機能とサービス提供ができる、という最大のセールスポイントがきちんとある。財政状況を踏まえながら、検討していく必要がある。

問

入浴客は、今回の温泉改修にたいへん期待して関心を寄せている。改修案では釜風呂設置の予定だが、入浴客に聞いたかぎりでは、釜風呂よりロウリュウ導入の声が目立つた。釜風呂の設置を取りやめてロウリュウを導入し、PRをして集客増を図ってはどうか。

答

これまで現場がいろいろ状況を踏まえて検討してきている。現時点で設計変更をするということ、今のところ考えていない。

問

ロウリュウ導入については、設計部分ではなくて備品的な軽微な変更になるかと考えている。ロウリュウの導入について、検討していただきたい。

「道の駅」の姿と、町民への周知の方法は

《町長》 保養センター内の改修、ホテルの解体、 24時間トイレの新設 わかりやすい情報提供をする



我妻 耕 議員

問

皆楽公園エリアにおける「道の駅」については、これまでの町側からの説明では、私が耳にした町民の方々の持つイメージとは、かなり離れている。このことは、町側にとって良い状況ではないと危惧している。月形の「道の駅」とはどのようなものであるか。

答

1点目、月形町の知名度向上と魅力をアピールする空間づくりを整備コンセプトとし、「道の駅」による情報発信力や他の地域との連携により観光人口や交流人口の創出を促進し、地域経済の活性化と地域の賑わいづくりを目指す。既存施設を有効活用し、町の財政負担や費用効果の観点からも過度な投資とならないように、さらには、その後の管理運営体制についても意識して計画している。

具体的には、「道の駅」の休憩機能について、普通乗用車及び大型車両が駐車できる駐車場、多目的トイレやベビーカーを備えた24時間トイレ、障がい者・妊婦用のカ

ーポート付き駐車場であり、電気自動車用の急速充電器も設置する。

2点目、情報発信機能としては、情報コーナーを温泉ゆりかご1階フロアに設置する。

3点目、地域連携機能としては、町民保養センター施設内に売店・レストランや休憩スペース、宿泊施設はな工房、休憩所、農産物等直売所を備えた水辺の家、そして、キャンプ場を利用する。24時間トイレ以外は、既存の施設を活用し、皆楽公園エリアの良さを最大限発揮できる「道の駅」づくりを目指していきたい。

問

情報発信について、今情報センターの入り口から入って下駄箱の左側が情報コーナーになるとのことだが、このスペースでどのような情報発信ができるのか。

答

デジタルサイネージという電子看板を使っての情報発信を考えており、あわせてパンフレットを置いたり、ポスターを貼るといったことをイメージしている。

問

地域振興機能について、具体的に伺いたい。

答

月形の星空が本場にきれいであるとNHKによる放送があった。北海道開拓の重要な役割を担ってくれた樺戸博物館もすばらしい。こういった歴史と自然も含めた情報やパネル、スタンプラリーなども含めて、「道の駅」の効果は非常にある。地域連携機能としては、水辺の家の農産物特産品の販売など、これからも町民と連携して「道の駅」を使って、月形の良さを全国に発信する。

問

今後どのように町民の方々に「道の駅」について周知・徹底させていくのか。

答

令和4年7月発行の町広報紙で、温泉の改修や「道の駅」の登録を目指すという内容をお知らせした。充分でないということなので、目指す「道の駅」の姿を、町の広報やホームページ、SNS、また地域懇談会、出前町長室などを通じて、町民の皆さまに詳しくお知らせ

問

令和4年広報4月号に掲載されている、地域拠点施設整備等審議会の報告で、「キッチンカーエリアやベーカリーを併設したカフェ、屋内外の遊び場という意見が出た」「本意見を基に『道の駅整備について』の答申内容をまとめていく」などといった、何を採用し、何ができなかったのか、その理由は、など、どのような発信をするのか

答

審議会委員の皆さんの任期は、今月（令和5年6月）いっぱいですが、審議会の委員の皆さんに、今、議員が言われた内容について、ていねいにお知らせしなければなりません。



かねこ ひろし
金子 廣司 議員

1.町の工事は地元業者に発注できないか

《町長》月形中小企業等振興基本条例に基づき

推進している

2.月形町の入札基準はどうなっているのか

《町長》請負業者を入札参加者指名選考審査する

指名委員会での決定を見て決裁、指名する

1.町の工事は地…

問 町内業者の活性化と入札のあり方について質問する。

町内業者の活性化については、昨年の暮れに町建設協会から町に対して要望があった。その内容は、「私たち建設業者にも仕事の場がほしい。そういうチャンスを与えてほしい。私たちは前向きにやりたい」とのことだった。

その後、私が事業者と話したときに、委託事業の資格はあるが、仕事ができないという評価なのかも知れないが、そのテーブルに乗せてもらえず、チャンスを与えただけ、という願いがあった。

私は前町長に、「町の事業の仕事は地元で循環できないか」と一般質問した。要するに地元で事業者が発注して、税金で回収できないかという意味である。その当時は、入札不調だと不正だとかがあり、前に進まなかった。

ただ、人口が減少して3000人を切ってしまい、2500人ぐらいになってしまっ

たときに、仕事の場を作ることも行政の仕事である。地元業者が元請けになり、よそからも下請けに入っていたら、仕事をしてもらう。町の仕事は、地元業者にしてもらいたい、やってほしいという考えがあるのかお聞きしたい。

答 本町では、コロナ禍の

間、町内の事業者に対し事業継続に向けた独自の支援を全力で行ってきた。また、月形中小企業等振興基本条例を令和4年4月に制定して、条例の目的に規定される中小企業者等の持続的な成長及び発展のため、政策を講じている。町としては、工事の発注や物品の調達にあたっては、町内事業者の受注機会の確保に、よりいっそう努めることで、町内事業者の経営基盤の強化や安定化を図れるようにと私も考えているし、これまでも推進してきている。

2.月形町の入札…

問 明日の定例会で保養センターの改修について審議する。まだ、可決されるかわからないが、これなど、地元の業者ができる所は、地元の業者にやってもらい、地元の企業を育てるといって、何の気構えがないと、町民が何を言っても担当課は何もしてくれないという言葉が出てくる。町民の目線で町職員が町民に向いていないから、業者が仕事をしたくても、相手にしてくれない。町内業者を門前払いするのではなく、チャンスの場を与える覚悟はあるか。

答 町の公共性という中で、地方自治法で入札基準が定められており、それに基づいて適正、公正に執行しなければならぬという大枠が定められている。しかし、役場が地元業者のできる仕事まで枠にはめて、地元業者を外した形で仕事をしてはいない。副町長をはじめ、幹部職員は、副町長をはじめ、幹部職員に立って地元業者等に積極的

に発注などの機会を設けることを申し合わせている。

問 次に入札のあり方について聞くが、入札の基準というものはどういうものをもって執行されているのか、月形町の場合は、どういう形で執行されているのか、その経緯を伺いたい。

答 月形町財務規則において、一般競争入札、指名競争入札及び随意契約について具体的に規定し、これらの規定にそって入札を執行している。

建設工事などにおいて、指名競争入札の場合の請負業者の指名選考を審査するために月形町建設工事等入札参加者指名委員会が設置されており、そして必要ごとにその都度、委員会を開催している。これには、関係課長等が委員として参加し、副町長が委員長として運営している。指名業者の選考審査で、競争入札をする前に必ず指名要綱に基づいた指名委員会を開催し、その結果について、私が決裁し、指名をして入札に参加していた。

多年の功績を讃えて

町村自治の振興発展に永年尽くされました

金子廣司前議長は、月形町議会議員在職25年以上(議長及び副議長の経験による加算年数分も含む)の長きにわたり、議会制度の高揚と地域振興及び住民福祉の向上に尽力されました。その功績を讃えられ、北海道町村議会議長会自治功労者表彰を授与されました。今後も月形町議会の重鎮として、ご健勝とますますの活躍を期待いたします。



活動経過報告

●6～8月活動

| | | | | | | | |
|------|--------------|------|----------------------|------|------------------------------|----------------------|------------|
| 3月7日 | 令和5年第1回定例会 | 3月7日 | 令和5年第1回定例会 | 6月8日 | 議会運営委員会 | 8月2日 | 全員協議会 |
| 8日 | 広報特別委員会 | 8日 | 広報特別委員会 | 9日 | 令和5年第2回定例会 | 16日 | 広報特別委員会 |
| 9日 | 議会運営委員会 | 9日 | 議会運営委員会 | 9日 | 令和5年第2回定例会 | 16日 | 北海道町村議会議長会 |
| 14日 | 令和5年第1回定例会 | 16日 | 全員協議会 | 9日 | 令和5年第2回定例会 | 17日 | 広報特別委員会 |
| 15日 | 令和5年度予算特別委員会 | 16日 | 月形刑務所職員との交流会 | 9日 | 令和5年第2回定例会 | 22日 | 議会広報研修 |
| 16日 | 広報特別委員会 | 30日 | 第39回町民交通安全1000人パレード | 16日 | 全員協議会 | 28日 | 議会運営委員会 |
| 17日 | 令和5年第1回定例会 | 7月4日 | 北海道町村議会議員研修会 | 16日 | 月形刑務所職員との交流会 | 31日 | 樺戸監獄物故者追悼式 |
| 5月9日 | 令和5年第1回臨時会 | 5日 | 月形町戦没者追悼式 | 16日 | 月形刑務所職員との交流会 | 月形潔を偲ぶ交流会(正副議長・金子議員) | |
| 11日 | 全員協議会 | 12日 | 空知町村議会議長会議員研修会 | 19日 | 北海道町村議会議長会新任議員研修会(若井議員・滝口議員) | | |
| 16日 | 広報特別委員会 | 19日 | 空知町村議会議長会議員研修会 | 20日 | 広報特別委員会 | | |
| 29日 | 議会運営委員会 | 23日 | 第24回月形町議会議長杯パークゴルフ大会 | 26日 | 広報特別委員会 | | |
| | | 31日 | 令和5年第2回臨時会 | | 令和5年第2回臨時会 | | |

議長はの単独会務のほかにも、監査、月新水道企業団、空知教育センター、岩見沢地区消防事務組合など、それぞれの議会などへ随時担当議員が参加・派遣され、活動を行っています。

太字：基本全員参加
議長の単独会務については省略

授業の一環で議会を傍聴

そのときの感想文をいただきました。



石川 源太 さん

僕が心に残ったことは、町議会は月形のことを真剣に考えていてくれるということとです。どのお金をどれに当てるか、どのお金を減額するのか、わからないこともありましたが、議員の定員は8人なのに7人で、頑張っているところがありました。ありがとうございました。



木村亮介 さん

社会科の学習で町議会の見学をして思ったことは、副町長さんが大変だということとです。副町長さんがたくさんの方の説明をして話し合いが成り立っているのが大変だと思いました。

この町議会を通して町民たちの願いを叶えようとしている議員の人たちがいてくれて嬉しかったです。ありがとうございました。



佐藤穂乃花 さん

町議会の見学に行つて、議長を中心に、副町長が説明をしていたので、副町長は大変なんだなと思いました。議事場は、すごい緊張感がただよっていて、聞いているだけなのに、こっちゃん緊張しました。いろんな難しい言葉が出てき



新道咲彩 さん

たので、全然意味はわからなかったけど、町民のために真剣に話し合いをしていたので、嬉しかったです。この町議会の見学を生かして、今後の勉強に役立てたいです。

町の方針を決める大事な会議、町議会では、難しい言葉がたくさんでした。ですが「補正額の承認」という言葉が多い印象でした。副町長さんが説明をしていて、議長さんが司会をしているような感じでした。大切な会議なので傍聴できてよかったです。



東出愛梨 さん

私達、6年生は社会の勉強で町議会議事場を傍聴しました。そこには、町長や議員などたくさんの方がいました。お金関係のことを話し合っていて難しい言葉がたくさんありましたが、聞いたことのある言葉もありました。町議会



松浦慧人 さん

る言葉もありました。町議会定例会議案書を見ながら話し合いをしていました。私たちの暮らしに関わる、大切な町づくりの話をしていくことがわかりました。ありがとうございました。

町議会では、難しい言葉や漢字がいっぱいでよく話に入らなかったけど、この会議をする中で、月形町が、より良い町に近づくことは、わかりました。僕の印象は、最初に副町長さんがいっぱい話をしている、心の中で、「いっぱい言うことがある副町長は大変だな」と思いました。この経験で僕は、会議の凄さを理解しました。ありがとうございました。



松浦湊人 さん

社会の授業で町議会に行つて、町議会では副町長さんがいろいろな提案や報告でたくさんお話をしたいへん素晴



樋口 碧 さん

らしいと思いました。話の内容が難しくして理解できなかったところもありましたが、町議会が僕たちのために真剣に話し合いをしていてくれることがよくわかりました。

私は町議会を傍聴してみても、難しい話をしていたので、よくわかりませんでした。月形町のためにたくさん働いてくれることはすごいと思いました。町議会の雰囲気は国会よりもあまり過激的ではありませんでした。副町長さんは説明などをたくさんしていて、大変で、すごいと思いました。議事場は国会議事堂みたいに左右対称でした。何かをするためには、必ずたくさんのお金が必要だということがよくわかりました。町議会定例議案書には私たちが読めないような漢字ばかりがたくさん載っていました。そのことから、議員さんになるにはたくさんのお金が必要だと思いました。

新企画

第1回

舞い降りて月形
住んで、見て、感じた月形は！



月形刑務所刑務官 木村さん

『千龍』『たる寿司』
よく行きました
実は、月形2回目です



「やあ、来たころはもっと雪が多かった」

「月形町の印象は？」の問いに対して、この一言で始まりました今回の企画。他市町村から月形町に移り住まれた方に、月形町についてお話を伺うことを通じて、わが町のいろいろを再発見してみようという企画です。お仕事で、ご結婚で、そのほかさまざまなきっかけで、月形町に住むことになった方にインタビューさせていただきます。

今回は、月形刑務所に勤務されている木村さんにお話を聞きました。

プロフィール

- ・出身 函館市
- ・刑務官となり、初めての赴任地が月形刑務所
- ・途中3年ほど函館少年刑務所に勤務
- ・再び月形刑務所に赴任され、現在に至る

◎月形町の印象は？

◎「初めて月形に来たとき、こちらの人たちは『訛り』がないと思いました。子どもたちのところに木古内町にも住んだことがあり、函館には訛りがありました」

「月形は、札幌にも、富良野にも距離感が近いと思います」

◎「初めて来たころは、今はない『千龍』や『たる寿司』などによく行った。『千龍』のチャーハンは美味しかった」

◎月形町ってどんなところ？

◎「月形町で生まれ育った子どもが、途中、函館に引っ越しをして、またこちらに戻ってきましたが、すんなり溶け込めた。月形の学校は、学年に関係なく仲良くやっている。部活の数は少ないかな」

「日常の買い物は、函館は大きな街なので歩いて行ける」

所にスーパーがあり、便利でした」

◎月形町議会にひと言！

◎「道の駅」は盛り上げてほしい」

◎行政にひと言！

◎「マイナンバーカードについて、コンビニや町立病院など町内でもっと活用できるようにしてほしい」

「月形町内の除雪のレベルは、ほかと比べても高いと思います。これからもよろしくお願いします」

◎月形町にエールを

◎「住みやすい町だと思います」

「インタビューを終えて」

木村さんは、長い間月形町に住まれ、子育てもされて、インタビューのなかでは昔の飲食店の名前などがポンポン出てくるなど、しっかりと月形町に根ざされていると感じました。今回の企画に対しましては、木村さんをはじめ月形刑務所のご理解で実現できましたことに、改めて感謝申し上げます。

今後とも、「見えていない」月形の魅力を探るべく、この企画を続けていきます。

広報特別委員会

- 委員長 松田 順一
- 副委員長 我妻 耕二
- 委員 若井 昭二
- 委員 滝口 伸

6月の本会議には、月形小学校6年生の児童8人が傍聴に来られ、感想をお願いしたところ思い思いの感想をいただき、うれしく思いました。また、今回が月形刑務所に2度目の赴任となる函館出身の刑務官の方が、私どものインタビューに快く応じていただきました。今後も月形の“人々”を通じて、月形の今を知っていただけるよう広聴活動に励んでいきます。(松田)

〒061-0592 北海道樺戸郡月形町1219番地
TEL (0126) 53-2321 FAX (0126) 53-4373
E-mail : gikai@town.tsukigata.hokkaido.jp